

感謝 (未来を託す)

南あわじ市長 中田 勝久



座も多くの市民の方に参加いただいております。今後も、官・学・地域の連携が益々盛んになり、ひかり輝くひとづくりへと繋がっていくものと確信しています。

さらに、防災減災、安心・安全への取組みも欠かすことが出来ません。ゲリラ豪雨や強大な台風への対策をはじめ、南海トラフ巨大地震津波対策など、様々な脅威への対策を進めていく必要があります。県では、津波防災インフラ整備計画や三原川流域の治水対策など、井戸知事の強力なお力添えをいただいております。今後も、国、県、地元選出の国・県議員の先生方と連携し、施策を推進してまいらねばなりません。また、安心・安全な暮らしのためには、健康・福祉面での施策も重要です。右肩上がりの社会保障費に対応しながら、誰もがいきいきと暮らすことができ、シルバー世代の皆様方に更にご活躍をいただける魅力あるまちづくりが必要です。

新年あけましておめでとうございませう。市民の皆様におかれましては、希望にあふれる新年をお迎えのこと、心からお慶び申し上げます。また、市政運営に對しまして昨年中に賜りました温かいご理解とご協力に厚くお礼申し上げます。

振り返れば、平成17年1月11日に南あわじ市が誕生し、初代南あわじ市長として市民の皆様のご負託をいただきました。南あわじ市を一日も早く一体感あふれるまちにしたいとの思いのもと、選択と集中、熟慮断行、あつという間の12年でありました。合併当初、厳しい財政状況も、現在では健全財政を着実に維持できるようになりました。この間、ケーブルテレビサービスの全域への拡大、市内小中学校の耐震化100%、若人の広場公園整備工事や新庁舎、美菜恋来屋などのプロジェクトも完成し、市内21地区公民館に市民交流センターを設置するなど、行政の仕組みについても、変革を重ねてまいりました。

目標を、1.活気ある仕事づくり、2.ひかり輝くひとづくり、3.魅力あふれるまちづくりの3つとしています。その実現のためには、農畜水産業や瓦産業などが元気でなければなりません。地場産業を中心に観光とマーケティングすることで、交流人口の増加につながれば、そこに賑わい、活気ある仕事が生まれ、更に地域の活力へとつながると考えています。

また、地域は人から、活力の源となるのは人であります。子どもから高齢者まで、すべての世代の市民の方々が互いに支え合い、協力し合えるような人づくりの推進が必要です。少子対策、定住促進への積極的な取組みを継続しながら、生涯学習を進め、郷土愛を醸成していく必要があります。平成25年4月に開学した吉備国際大学地域創成農学部も4年目を迎え、春には第1期生が巣立っていきます。同大学での生涯学習講座

さて、私自身、市長としての任期も残り僅かとなりました。任期終盤に体調を崩したことへの残念な思いはありますが、これまで皆様方からいただきましたご理解・ご協力で心から感謝申し上げますとともに、次世代へ未来を託したいと思っております。最後になりましたが、本年が、皆様一人ひとりととって、飛翔の一年となりますよう、心よりお祈り申し上げ、年頭に当たってのご挨拶とさせていただきます。

謹賀新年

平成29年

皆様の負託に応え切れ味鋭く着実に!

南あわじ市議会議長 印部 久信



新年あけましておめでとうございませう。輝かしい新年を迎えるにあたり、南あわじ市議会を代表いたしまして謹んで新年のご挨拶を申し上げます。市民の皆様方には、市議会に對しまして温かいご厚情とご指導をいただいておりますこと、厚くお礼申し上げます。

私こと議長に就任して1か月余りとなりますが、その重責をひしひしと感じるとともに、日々精進する決意を新たにしているところでありませう。

さて、昨年11月の大相撲九州場所において南あわじ市出身の照強が幕下全勝優勝を飾り、淡路島内出身力士としては実に55年ぶりの十両昇進を決めました。更にスポーツ界では、智弁学園の村上

投手が春の選抜高校野球大会で優勝、リオパラリンピックでは、柔道の正木選手が銅メダル獲得するなど南あわじ市出身選手が気を吐きました。

国際情勢に目を移しますと、アメリカ次期大統領にトランプ氏が決定し、TPPからの離脱発言や安全保障など日本への影響も少なからず想定され、ロシア、中国な

ど、日本を取り巻く外交環境は厳しさを増していると言わざるを得ません。特に、政府はTPPを機に「攻めの農業」を掲げておりますが、その影響については、今後注視していく必要があります。

地方創生時代、地方自治体の活力が国の活力につながります。二元代表制の一翼を担う議会は、行政を監視するという立場にありますが、「より良い南あわじ市を!住民の福祉向上を!」という方向性に違いはありません。これからの市民の皆様は信頼される開かれた議会を目指して取り組んでまいります。

最後になりましたが、本年が、市民の皆様一人ひとりととって、きらりと輝くより良い一年となりますよう、ご祈念申し上げ、年頭に当たってのご挨拶とさせていただきます。



平成28年 南あわじ市 10大ニュース



広報4月号に掲載

平成27年のふるさと納税が4億5550万円で県下トップ



広報2月号に掲載

シニアロケーション「あわじ国」を公開 大統領:中田勝久 官房長官:上沼恵美子



広報5・6月号に掲載

智辯学園の村上頌樹選手(賀集出身)が第88回選抜高校野球大会で優勝投手



広報6月号に掲載

「国生みの島・淡路～古代国家を支えた海人の営み～」が日本遺産に認定



広報10月号に掲載

国際姉妹都市提携20周年 アメリカ合衆国セライナ市と再調印



広報11月号に掲載

柔道の正木健人選手(北阿万出身)がリオパラリンピックで銅メダル



9月30日に表明

中田市長が平成29年2月の任期満了で退任を表明



広報11月号に掲載

南あわじ市消防団神代第1分団が全国消防操法大会ポンプ車の部で準優勝



広報12月号に掲載

松帆銅鐸に兄弟銅鐸が発見 弥生時代に雲南との流通を示唆



4ページに掲載

照強(八木出身)が十両昇進 淡路島で55年ぶりの関取

